

2021年度IT賞において、「IT奨励賞」を受賞 「経営統合におけるシステム対応」への取り組みが評価され、 旧日立キャピタルにおける受賞も含めて、5年連続のIT賞受賞



三菱HCキャピタル株式会社(代表取締役 社長執行役員:柳井 隆博/以下、当社)は、このたび、公益社団法人企業情報化協会(以下、IT協会)が主催する「2021年度(第39回)IT賞」において、「経営統合におけるシステム対応」への取り組みが評価され、IT奨励賞(「マネジメント領域」)を受賞しました。

IT賞は、1983年にIT協会が「OA賞」としてスタートさせた、IT化の促進・活性化に寄与した事例を表彰する制度です。“ITを活用した経営革新”に顕著な努力を払い、優れた成果が認められた企業・団体に授与されており、今回で39回目を迎えます。

当社は、2021年4月1日、三菱UFJリース株式会社と日立キャピタル株式会社の統合により、誕生しました。日立キャピタル株式会社においては、2017年度から4年連続でIT賞を受賞しており、その受賞を含めると、今回で5年連続の受賞となります。

当社は、2020年9月24日の経営統合発表から、新会社発足まで6カ月という短期間、かつコロナ禍という制約下において、その統合準備を行ったことから、旧両社のシステム併存を前提に、新会社として業務を遂行するうえでの必要不可欠な要件を定義、その開発や修正に着実に取り組んできました。旧両社の異なるシステムにおけるデータ連携や社内ファイルの共有など、そのIT基盤の整備を行うとともに、当社の商号変更などを踏まえた各種業務システムの修正、構築にIT部門とユーザ部門が一体となって取り組み、新会社の発足を迎えるに至ったことが評価され、今回の受賞となりました。

当社は、経営ビジョンのひとつに、「デジタル技術とデータの活用によりビジネスモデルを進化させ、企業価値の向上を図る」ことを掲げています。旧両社ともに、統合前から社内申請業務の電子化(ワークフロー)やRPA*を活用したプロセス業務の自動化に取り組んでおり、在宅勤務を基本とした新たな働き方を前提に、それらの取り組みをさらに加速しています。

今後とも、当社は、旧両社が有するIT技術やノウハウなどを集約、最適化を図ることで、全社をあげたビジネスモデルの進化、そのさらなる成長の実現に取り組んでいきます。

* RPA: Robotic Process Automationの略語で、パソコンで行っている事務作業を自動化できるソフトウェアロボット技術のこと。

■IT 協会ウェブサイト「2021 年度(第 39 回) IT 賞 受賞企業決定」

<https://www.jiit.or.jp/im/award.html>

■三菱HCキャピタルグループについて

三菱HCキャピタルグループは、「社会資本／ライフ」「環境・エネルギー」「モビリティ」「販売金融」「グローバルアセット」を注力領域としています。三菱HCキャピタルは、絶えず変化する社会やお客さまのニーズに応えるべく、地球環境に配慮し、独自性と進取性のある事業を展開することで、明るく希望に満ちた未来社会や豊かな暮らしの実現に貢献していきます。

詳しくは、三菱HCキャピタルのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-hc-capital.com/>

■本件に関するお問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社

コーポレートコミュニケーション部

〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号

TEL 03-6865-3002 (直通)

以上